

ロータリー早分かり

ロータリー：世界120万人の会員から成るボランティアのネットワーク、ロータリーは、地域社会を支援する草の根の活動から、全世界でポリオを撲滅する国際的取り組みまで、200以上の国と地域にあるロータリークラブを中心に奉仕活動しています。

ロータリーはさらに、地域社会の人びとにもさまざまな奉仕の機会を提供しています。

- **インターアクト**：12～18歳の若者を対象としたグループで、ボランティア活動に参加して、国際理解を深めることを目指しています。現在、世界133カ国に12,300以上のインターアクトクラブがあります。クラブは、ロータリークラブがスポンサーとなって設立されます。
- **ローターアクト**：18～30歳の若者を対象としたグループで、ボランティア活動を実施し、リーダーシップのスキルや職業に役立つ知識を学びながら活動しています。現在、世界167カ国に8,000以上のローターアクトクラブがあります。クラブは、ロータリークラブがスポンサーとなって設立されます。
- **ロータリー地域社会共同隊(RCC)**：ロータリークラブ会員以外の人びとが、地域社会のためにボランティア活動をするグループです。ロータリークラブがスポンサーとなって設立され、現在、世界80カ国に7,500以上のRCCがあります。

ロータリーの会員について

どんな人たち？ ロータリーでは、地域社会のために何かをしたいと考える人が集まり、仲間との親睦を楽しみながら、奉仕活動を行っています。ロータリーの会員は「ロータリアン」と呼ばれ、その職業は、医師や弁護士、中小企業の事業主など、実にさまざまです。それぞれの会員が知識とスキルを生かし、多角的な視野で社会に貢献しています。

クラブはどこに？ ハイチ、グリーンランド、ナイジェリア、シンガポール、そして日本にいたる世界の隅々にクラブがあり、真に国際的な多様性があります。現在、最もクラブが多い国は、米国、インド、日本、ブラジルです。東南アジアとアフリカでも、ロータリーが急成長しています。

何をしている？ ロータリー会員は、世界中の地域社会で、持続的な変化をもたらす長期的な活動に力を注いでいます。ロータリーが特に力を入れている分野は、平和と紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展です。



ポリオ撲滅活動：ロータリーは、世界からポリオ(急性灰白髄炎)を撲滅するために、1985年に**ポリオプラス**を開始。以来、ポリオ発症数は99.9%減っており、撲滅が実現すれば、ポリオは天然痘に続いて人類史上2番目に根絶される病となります。1988年には、**世界保健機関(WHO)**、**ユニセフ**、**米国疾病対策センター(CDC)**と協力し、**世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)**を発足。ポリオ撲滅は、現在もロータリーの最優先事項です。ロータリーはこれまでに17億米ドル以上を投入しているほか、122カ国の25億人以上の子どもに予防接種を行うために多大な時間を捧げてきました。ロータリーは、今後3年間で毎年5,000万ドルを集めるファンドレイジングを行っています。**ゲイツ財団**とのパートナーシップにより、ロータリーからの5,000万ドルの寄付に対して、2倍の額の寄付がゲイツ財団から上乘せされます。